

地球温暖化対策報告書(その1)

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称 及び代表者の氏名)	港区 区長 武井 雅昭				
事業者番号	A	1	0	3	6

2 報告する事業所等の全体の状況(2019年度の状況)

条例第8条の23第1項 報告事業所数	53	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	7,346	kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	0	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	14,170	t
------------	--------	---

4 評価の対象とする事業所

評価対象事業所	☒ 義務提出事業所	☐ 全事業所
---------	---	-------------------------------

5 評価対象事業所における直近5か年度の状況

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
合計二酸化炭素排出量	15,396.00	14,979.00	14,967.00	14,481.00	14,170.00	t
合計延床面積	376,660.22	346,953.33	343,829.07	281,582.00	276,005.49	m ²
合計原単位	40.87503	43.17295	43.53035	51.42729	51.33955	kg-CO ₂ /m ²

平均合計二酸化炭素 排出量削減率	2.05	%
平均合計原単位改善率	-5.86	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利用事業所数	40	事業所
再生可能エネルギー 利用事業所率	75.47	%

7 評価結果

地球温暖化対策の 取組に係る評価	——	ランク
---------------------	----	-----

8 実績年度の目標達成の状況

実績年度の目標達成の状況	☐	目標達成した。
--------------	--------------------------	---------

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無
合計二酸化炭素排出量削減率		%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他の	特記事項に内容を記載	

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1
----------	---

11 事業者としての取組

取組方針	港区環境方針、第4次港区環境率先実行計画に基づき、区有施設の省エネルギー化を図り、温室効果ガス削減のための取組を推進する。			
組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A104	取組状況の点検体制の構築
	A102	温暖化対策推進担当の配置	A105	取組内容や点検体制の定期的改善
	A103	具体的な取組目標と内容の設定	A106	本社等による支店の支援
	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A107	排出状況の整理・分析・提供
			A108	組織横断的な推進体制の整備
			A116	所内会議・研修会等で報告

12 特記事項

港区では、平成28年3月に「第4次港区環境率先実行計画」を策定し、区有施設の省エネルギー化及び省エネの取組を推進しています。また、区有施設を対象とし、エネルギー管理に特化した環境マネジメントシステムを構築・運用することで、組織としての取組体制を構築しています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三田いきいきプラザ									
事業所番号	A	1	0	3	6	ー	0	0	0	3
事業所等の所在地	〒	1	0	8	ー	0	0	3	7	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	芝4-1-17								
事業所等の延床面積	1,527.65		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	44	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	85	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	87	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	55.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	15,211.3	45.00	684.5	0.014	34.1
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	4,528.0	9.97	45.1	0.489	2.2
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	1,688.0	9.28	15.7	0.489	0.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	99,086.0	9.76	967.1	0.489	48.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合 計					⑭ 1,712.4		⑮ 85.6
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	3,611.0			0.251	0.9
	公共下水道	☐ m ³	3,611.0			0.439	1.6
合 計							⑯ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

・当該施設は、指定管理者が運営・管理。トイレの照明等を間引きで点灯させている。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	虎ノ門いきいきプラザ										
事業所番号	A	1	0	3	6	ー	0	0	0	4	
事業所等の所在地	〒	1	0	5	ー	0	0	0	1	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	虎ノ門1-21-10									
事業所等の延床面積	1,858.08			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	70	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	135	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	139	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	72.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	16,097.7	45.00	724.4	0.014	36.1
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	76,484.0	9.97	762.5	0.489	37.4
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	921.0	9.28	8.5	0.489	0.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	125,449.0	9.76	1,224.4	0.489	61.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭		⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	6,861.0			0.251	1.7
	公共下水道	☐	m ³	6,861.0			0.439	3.0
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C308	温度計等による室温の把握と調整
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設 備 導 入 対 策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E110	高効率モータの導入(空調用)
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・虎ノ門高齢者在宅サービスセンターを併設。・区分所有(民間ビルに入居)。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	麻布地区総合支所									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	0	5
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	8	5	1	5	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	六本木5-16-45								
事業所等の延床面積	6,317.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	162	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	316	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	318	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	50.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	9,771.9	45.00	439.7	0.014	21.9		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	601,498.0	9.76	5,870.6	0.489	294.1		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬
合 計							⑭	6,310.4		⑮	316.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,854.0				0.251		0.7
	公共下水道		☐	m ³	3,097.0				0.439		1.4
合 計										⑯	2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E125	高輝度誘導灯の導入
				E105	照明用人感センサの採用
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・麻布区民センター(指定管理者が運営)、統計調査係、レストランを併設。・雨水使用の為、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	飯倉保育園									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	0	6
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	0	6	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	東麻布1-21-2								
事業所等の延床面積	1,995.38		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	68	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	132	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	134	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	66.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	20,346.1	45.00	915.6	0.014	45.7			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	176,997.2	9.76	1,727.5	0.489	86.6			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	2,643.1		⑮	132.2	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,537.6				0.251		1.1	
	公共下水道		☐	m ³	4,145.0				0.439		1.8	
合 計										⑯	3.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設 備 導 入 対 策			E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・飯倉学童クラブを併設。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	南麻布保育園										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	0	7	
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	4	7	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	南麻布4-2-29-101									
事業所等の延床面積	722.45			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	32	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	62	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	63	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	85.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	4,291.9	45.00	193.1	0.014	9.6
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	108,507.0	9.97	1,081.8	0.489	53.1
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 1,275.0		⑮ 62.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,662.0			0.251	0.7
	公共下水道	☐	m ³	2,662.0			0.439	1.2
合 計								⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・区分所有(都営住宅と併設)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	南麻布いきいきプラザ										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	0	9	
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	4	7	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	南麻布1-5-26									
事業所等の延床面積	3,751.88			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	134	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	257	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	263	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	68.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	62,419.8	45.00	2,808.9	0.014	140.1
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	240,705.0	9.97	2,399.8	0.489	117.7
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 5,208.7		⑮ 257.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	8,082.0			0.251	2.0
	公共下水道	☐	m ³	9,292.0			0.439	4.1
合 計								⑯ 6.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E114	高効率パッケージの採用	E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・南麻布高齢者在宅サービスセンター、南麻布地域包括支援センターを併設。当該施設は指定管理者が運営・管理。
雨水利用のため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	赤坂地区総合支所									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	1	1
事業所等の所在地	〒107-0052 区市町村名 東京都港区 町名番地以下 赤坂4-18-13									
事業所等の延床面積	14,697.10		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	455	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	882	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
総計(④=②+③)	④	888	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	60.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	188,895.9	45.00	8,500.3	0.014	423.9
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	938,165.6	9.76	9,156.5	0.489	458.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計					⑭ 17,656.8		⑮ 882.6
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	8,569.2			0.251	2.2
	公共下水道	☐ m ³	9,386.2			0.439	4.1
合 計							⑯ 6.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C132	開け放し開口部面積の縮小
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
				C509	中央熱源機器等の季節設定実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・赤坂区民センター、健康増進センター、シティハイツ赤坂(共用部分、職員寮、区営住宅)を併設、これらの施設は指定管理者が運営・管理している。・雨水利用のため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	南青山保育園									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	1	3
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	6	2	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	南青山1-3-15								
事業所等の延床面積	1,100.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	43	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	83	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	85	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	75.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	7,940.1	45.00	357.3	0.014	17.8
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	134,666.7	9.97	1,342.6	0.489	65.9
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	^⑫ 0.0	^⑪ 9.76	^⑬ 0.0	0.489	^⑭ 0.0
合 計							^⑮ 1,699.9		^⑯ 83.7
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,184.0			0.251	1.1
	公共下水道		☐	m ³	4,184.0			0.439	1.8
合 計									^⑰ 2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・高温時を除き、扇風機やファンの多用を心がけている。・区分所有(都営住宅と併設)。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	青山いきいきプラザ									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	1	5
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	6	2	区市町村名
	町名番地以下	南青山2-16-5								
事業所等の延床面積	2,471.33		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	48	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	94	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	96	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	38.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	14,961.9	45.00	673.3	0.014	33.6
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	106,530.0	9.97	1,062.1	0.489	52.1
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	17,414.0	9.28	161.6	0.489	8.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 1,897.0		⑮ 94.2
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,134.0			0.251	0.8
	公共下水道	☐	m ³	3,134.0			0.439	1.4
合 計								⑯ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E141	太陽光発電設備の導入
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・当該施設は指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	高輪地区総合支所										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	1	6	
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	8	5	1	8	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	高輪1-16-25									
事業所等の延床面積	11,255.01			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	281	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	546	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	547	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	48.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	45,005.6	45.00	2,025.3	0.014	101.0			
	その他(A重油)		☐	L	430.0	39.10	16.8	0.019	1.2			
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	909,351.3	9.76	8,875.3	0.489	444.7			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	10,917.3		⑮	546.8	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,825.7				0.251		0.7	
	公共下水道		☐	m ³	2,825.7				0.439		1.2	
合 計										⑯	1.9	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C503	利用客数の時間帯別把握
				C509	中央熱源機器等の季節設定実施
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設 備 導 入 対 策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E136	デマンドコントローラの設置
				E141	太陽光発電設備の導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・A重油は非常用発電機に使用している。・高輪区民センター、シティハイツ高輪を併設している。それぞれ指定管理者が運用・管理している。・教育委員会所管の高輪図書館を併設しているが、本報告には含まれない。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	白金台いきいきプラザ									
事業所番号	A	1	0	3	6	ー	0	0	1	8
事業所等の所在地	〒	1	0	8	ー	0	0	7	1	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	白金台4-8-5								
事業所等の延床面積	3,964.72			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満	
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	81	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	156	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	158	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	39.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	30,570.5	45.00	1,375.7	0.014	68.6
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	148,398.2	9.97	1,479.5	0.489	72.6
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	31,650.0	9.28	293.7	0.489	15.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 3,148.9		⑮ 156.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,257.0			0.251	0.8
	公共下水道	☐	m ³	4,312.0			0.439	1.9
合 計								⑯ 2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・白金台児童館(区が運営・管理)を併設。・当該施設は指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	豊岡いきいきプラザ									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	1	9
事業所等の所在地	〒108-0073 区市町村名 東京都港区									
	町名番地以下 三田5-7-5									
事業所等の延床面積	1,607.15		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	33	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	63	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	64	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	39.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	14,098.2	45.00	634.4	0.014	31.6
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	51,997.5	9.97	518.4	0.489	25.4
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	14,067.4	9.28	130.5	0.489	6.9
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 1,283.4		⑮ 63.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,632.1			0.251	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,632.1			0.439	0.7
合 計								⑯ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・豊岡児童館と併設。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	白金保育園										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	2	0	
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	2	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	白金3-10-12									
事業所等の延床面積	2,564.50			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	68	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	133	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	136	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	51.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	25,467.8	45.00	1,146.0	0.014	57.1
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	126,047.0	9.97	1,256.7	0.489	61.6
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	29,109.9	9.28	270.1	0.489	14.2
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 2,672.9		⑮ 133.0
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,009.7			0.251	1.3
	公共下水道	☐	m ³	5,009.7			0.439	2.2
合 計								⑯ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・白金いきいきプラザ、白金保育サポートと併設(それぞれ指定管理者と委託業者が運営・管理)。当該施設は区が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	台場分室										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	2	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	5	—	0	0	9	1	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	台場1-5-1									
事業所等の延床面積	5,387.24		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	194	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	352	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	355	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	65.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	2,264.9	45.00	101.9	0.014	5.1
	その他(温水)	☐	MJ	1,676,600.0	1.36	2,280.2	0.060	100.6
	その他(冷水)	☐	MJ	878,100.0	1.36	1,194.2	0.060	52.7
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	397,506.0	9.97	3,963.1	0.489	194.4
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 7,539.4		⑮ 352.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,077.0			0.251	1.0
	公共下水道	☐	m ³	5,864.0			0.439	2.6
合 計								⑯ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
	設備保守対策			C132	開け放し開口部面積の縮小
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・緑のカーテンで日差しを遮る(保育園、児童館)・台場区民センター(指定管理者が運営・管理)、台場保育園、台場児童館(それぞれ区が運営・管理)を併設。区分所有(UR住宅と併設)の施設。・下水が多いのは、雨水を「有明水処理センター」へ送水後、高度処理水として変換後に中水として利用しているため。・地域冷暖房(冷水及び温水)を利用している

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	芝浦港南区民センター									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	2	3
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	2	3	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	芝浦4-13-1								
事業所等の延床面積	2,020.50		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	59	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	114	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	115	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	56.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	13,013.1	45.00	585.6	0.014	29.2
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	158,492.0	9.97	1,580.2	0.489	77.5
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	14,935.0	9.28	138.6	0.489	7.3
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 2,304.4		⑮ 114.0
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,451.0			0.251	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,451.0			0.439	0.6
合 計								⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設 備 導 入 対 策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E127	蒸気バルブ等の断熱強化
		E114	高効率パッケージの採用	E121	高効率ボイラの採用(給湯用)
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

・当該施設は指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	こうなん保育園									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	2	4
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	5	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	港南4-2-3-101								
事業所等の延床面積	1,185.33		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	41	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	80	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	82	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	67.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	5,415.2	45.00	243.7	0.014	12.2			
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	138,989.0	9.76	1,356.5	0.489	68.0			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	1,600.2		⑮	80.1	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,186.0				0.251		1.1	
	公共下水道		☐	m ³	4,186.0				0.439		1.8	
合 計										⑯	2.9	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・区分所有(都営住宅と併設)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	港南いきいきプラザ									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	2	5
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	5	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	港南4-2-1								
事業所等の延床面積	1,254.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	110	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	214	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
総計(④=②+③)	④	221	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	170.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	22,351.0	45.00	1,005.8	0.014	50.2
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	247,065.0	9.97	2,463.2	0.489	120.8
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	88,253.0	9.28	819.0	0.489	43.2
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計					⑭ 4,288.0		⑮ 214.1
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	11,031.0			0.251	2.8
	公共下水道	☐ m ³	11,031.0			0.439	4.8
合 計							⑯ 7.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E120	ヒートポンプ式給湯器等の導入
				E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・区分所有(都営住宅と併設)。当該施設は、指定管理者が運営・管理。温水プールを設置。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	芝浦アイランドこども園										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	2	6	
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	2	3	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	芝浦4-20-1									
事業所等の延床面積	3,761.20			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	133	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	255	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	259	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	67.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	6,103.5	45.00	274.7	0.014	13.7
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	420,585.0	9.97	4,193.2	0.489	205.7
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	74,347.0	9.28	689.9	0.489	36.4
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 5,157.8		⑮ 255.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	6,288.0			0.251	1.6
	公共下水道	☐	m ³	7,421.0			0.439	3.3
合 計								⑯ 4.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設 備 導 入 対 策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E141	太陽光発電設備の導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・ロールカーテンを活用して室温の調整に役立っている。・芝浦アイランド児童高齢者交流プラザを併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。・雨水使用のため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	港勤労福祉会館									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	2	7
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	1	4	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	芝5-18-2								
事業所等の延床面積	2,745.92		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	60	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	116	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	117	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	42.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	6,229.9	45.00	280.3	0.014	14.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	210,121.3	9.76	2,050.8	0.489	102.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	^⑫ 0.0	^⑪ 9.76	^⑪ 0.0	0.489	^⑬ 0.0
合 計							^⑭ 2,331.1		^⑮ 116.7
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,900.0			0.251	0.5
	公共下水道		☐	m ³	2,018.0			0.439	0.9
合 計									^⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設 備 導 入 対 策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・下水が少ないのは空調の冷却水として使用しているため。(水道局に減量申請を行っている)・隣接の東京都障害者福祉会館にデマンドメーターを設置しており、東京都の職員が管理している。・空調に関しても隣接の東京都障害者福祉会館との中央熱源であり、東京都の職員が管理しているため、事務室の個別空調以外は操作ができない。・光熱費等の情報については、東京都から提供される。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ふれあいの湯									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	2	9
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	4	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	芝2-2-18								
事業所等の延床面積	417.96		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	7	8	5	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	40	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	78	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	82	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	186.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	21,160.1	45.00	952.2	0.014	47.5
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	63,695.0	9.97	635.0	0.489	31.1
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 1,587.2		⑮ 78.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	6,789.0			0.251	1.7
	公共下水道	☐	m ³	5,773.0			0.439	2.5
合 計								⑯ 4.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C304	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E122	給湯の温水配管の保温の実施
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	特別養護老人ホーム白金の森										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	3	0	
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	1	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	白金台5-20-5									
事業所等の延床面積	4,466.78			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	284	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	550	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	9	t
総計(④=②+③)	④	559	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	123.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	33,619.3	45.00	1,512.9	0.014	75.4
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	700,847.0	9.97	6,987.4	0.489	342.7
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	270,682.0	9.28	2,511.9	0.489	132.4
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計					⑭ 11,012.2		⑮ 550.5
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	14,470.0			0.251	3.6
	公共下水道	☐ m ³	14,470.0			0.439	6.4
合 計							⑯ 10.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設 備 導 入 対 策	E114	高効率パッケージの採用	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・高齢者在宅サービスセンター白金の森、地域包括支援センター白金の森を併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。
・雑排水、雨水が混合しているため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	特別養護老人ホーム港南の郷										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	3	1	
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	5	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	港南3-3-23									
事業所等の延床面積	9,363.50			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場			☐ 複合施設			☒ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	531	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,032	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	18	t
	総計(④=②+③)	④	1,050	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	110.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	162,698.6	45.00	7,321.4	0.014	365.1
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	919,383.0	9.97	9,166.2	0.489	449.6
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	444,892.0	9.28	4,128.6	0.489	217.6
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 20,616.3		⑮ 1,032.2
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	27,033.0			0.251	6.8
	公共下水道	☐	m ³	27,033.0			0.439	11.9
合 計								⑯ 18.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設 備 導 入 対 策	E114	高効率パッケージの採用	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・高齢者在宅サービスセンター港南の郷、ケアハウス港南の郷、地域包括支援センター港南の郷を併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	特別養護老人ホームサン・サン赤坂										
事業所番号	A	1	0	3	6	ー	0	0	3	2	
事業所等の所在地	〒	1	0	7	ー	0	0	5	2	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	赤坂6-6-14									
事業所等の延床面積	8,491.34			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	374	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	724	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	13	t
総計(④=②+③)	④	737	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	85.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	139,947.4	45.00	6,297.6	0.014	314.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	621,662.0	9.97	6,198.0	0.489	304.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	217,764.0	9.28	2,020.8	0.489	106.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計					⑭ 14,516.5		⑮ 724.5
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	19,683.0			0.251	4.9
	公共下水道	☐ m ³	19,683.0			0.439	8.6
合 計							⑯ 13.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C419	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設 備 導 入 対 策			E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・緑のカーテンや打ち水などのイベントの実施をしている。・高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂、赤坂子ども中高生プラザを併設している。・教育委員会所管の氷川武道場も併設しているが、氷川武道場は本報告の実績には含まない。・当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	台場高齢者在宅サービスセンター										
事業所番号	A	1	0	3	6	ー	0	0	3	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	5	ー	0	0	9	1	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	台場1-5-5									
事業所等の延床面積	1,466.92		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	2	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	100	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	181	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	184	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	123.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	1,838.6	45.00	82.7	0.014	4.1
	その他(温水)	☐	MJ	1,131,500.0	1.36	1,538.8	0.060	67.9
	その他(冷水)	☐	MJ	403,800.0	1.36	549.2	0.060	24.2
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	173,592.0	9.97	1,730.7	0.489	84.9
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 3,901.5		⑮ 181.1
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,183.0			0.251	1.0
	公共下水道	☐	m ³	4,885.0			0.439	2.1
合 計								⑯ 3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C113	中間期における外気冷房の実施
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E123	トップランナー機器の採用	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・区分所有(UR住宅と併設)。当該施設は、指定管理者が運営・管理。・下水が多いのは、雨水を「有明水処理センター」へ送水後、高度処理水として返還後に中水として利用しているため。・地域冷暖房(冷水、温水)を利用している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	北青山高齢者在宅サービスセンター										
事業所番号	A	1	0	3	6	ー	0	0	3	4	
事業所等の所在地	〒	1	0	7	ー	0	0	6	1	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	北青山1-6-1									
事業所等の延床面積	1,541.92			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場			☐ 複合施設			☒ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	2	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	62	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	121	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	123	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	78.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	21,034.4	45.00	946.5	0.014	47.2
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	124,679.2	9.97	1,243.1	0.489	61.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	26,941.1	9.28	250.0	0.489	13.2
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 2,439.6		⑮ 121.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,418.0			0.251	0.9
	公共下水道	☐	m ³	3,418.0			0.439	1.5
合 計								⑯ 2.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C509	中央熱源機器等の季節設定実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E120	ヒートポンプ式給湯器等の導入
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・施設入口のエントランス、各フロアーのベランダに緑のカーテンを設置。・北青山地域包括支援センターを併設。区分所有(都営住宅と併設)。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	芝高齢者在宅サービスセンター									
事業所番号	A	1	0	3	6	ー	0	0	3	5
事業所等の所在地	〒	1	0	5	ー	0	0	1	4	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	芝3-24-5								
事業所等の延床面積	991.28		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	2	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	47	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	91	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	93	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	91.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	20,819.8	45.00	936.9	0.014	46.7
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	74,760.0	9.97	745.4	0.489	36.6
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	15,970.0	9.28	148.2	0.489	7.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 1,830.5		⑮ 91.1
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,915.0			0.251	1.0
	公共下水道	☐	m ³	3,915.0			0.439	1.7
合 計								⑯ 2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設 備 導 入 対 策	E114	高効率パッケージの採用	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・芝地域包括支援センターを併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	障害保健福祉センター										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	3	6	
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	4	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	芝1-8-23									
事業所等の延床面積	17,809.94			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	440	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	840	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	10	t
	総計(④=②+③)	④	850	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	47.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	103,215.5	45.00	4,644.7	0.014	231.6
	その他(A重油)	☐	L	262.0	39.10	10.2	0.019	0.7
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	1,244,628.0	9.97	12,408.9	0.489	608.6
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 17,063.9		⑮ 840.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	15,161.0			0.251	3.8
	公共下水道	☐	m ³	15,161.0			0.439	6.7
合 計								⑯ 10.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C113	中間期における外気冷房の実施
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設 備 導 入 対 策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E135	エレベータのインバータ制御
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・シティハイツ竹芝(区民住宅、職員寮)を併設。当該施設は指定管理者が運営・管理。・A重油は非常用発電機に使用。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東麻布保育園										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	3	9	
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	4	4	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	東麻布2-1-1									
事業所等の延床面積	2,614.98			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	35	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	68	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	69	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	26.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	8,489.1	45.00	382.0	0.014	19.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	79,281.4	9.97	790.4	0.489	38.8
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	21,961.1	9.28	203.8	0.489	10.7
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計					⑭ 1,376.2		⑮ 68.6
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	2,373.0			0.251	0.6
	公共下水道	☐ m ³	2,373.0			0.439	1.0
合 計							⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・閉校した旧飯倉小学校の一部を使用。・東麻布学童クラブ、みなと保育サポート東麻布を併設している。・教育委員会所管のつばさ学級を併設しているが、本報告には含まれていない。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川駅港南口公共駐車場										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	4	0	
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	5	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	港南2-14-17									
事業所等の延床面積	8,844.33			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場			☐ 複合施設			☒ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	72	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	142	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	142	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	16.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	147,445.0	9.97	1,470.0	0.489	72.1
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	144,055.0	9.28	1,336.8	0.489	70.4
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 2,806.9		⑮ 142.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	222.0			0.251	0.1
	公共下水道	☐	m ³	222.0			0.439	0.1
合 計								⑯ 0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設 備 導 入 対 策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・ガスの使用はなし。中央熱源設備、厨房は設置していない。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	麻布十番公共駐車場										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	4	1	
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	4	5	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	麻布十番1-4-10									
事業所等の延床面積	11,740.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	3	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	208	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	407	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	407	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	34.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0			
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	481,651.0	9.97	4,802.1	0.489	235.5			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	348,180.0	9.28	3,231.1	0.489	170.3			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	3,998.0	9.76	39.0	0.489	2.0			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	8,072.2		⑮	407.7	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	950.0				0.251		0.2	
	公共下水道		☐	m ³	950.0				0.439		0.4	
合 計										⑯	0.7	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C503	利用客数の時間帯別把握
				C509	中央熱源機器等の季節設定実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
		E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・ガスの使用はなし。24時間稼働の施設である。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	エコプラザ										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	4	2	
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	3	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	浜松町1-13-1									
事業所等の延床面積	4,630.98			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	3	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	128	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	128	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	27.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	181,164.0	9.97	1,806.2	0.489	88.6
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	81,114.0	9.28	752.7	0.489	39.7
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 2,558.9		⑮ 128.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	287.0			0.251	0.1
	公共下水道	☐	m ³	287.0			0.439	0.1
合 計								⑯ 0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C123	温湿度の適正管理
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設 備 導 入 対 策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・当該施設は、指定管理者が運営・管理。・シティハイツ神明を併設している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	みなとリサイクル清掃事務所										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	4	3	
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	5	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	港南3-9-59									
事業所等の延床面積	10,438.98			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	7	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	127	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	247	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	253	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	23.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	26,643.9	45.00	1,199.0	0.014	59.8
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	283,373.0	9.97	2,825.2	0.489	138.6
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	100,868.0	9.28	936.1	0.489	49.3
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 4,960.3		⑮ 247.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	9,625.0			0.251	2.4
	公共下水道	☐	m ³	9,951.0			0.439	4.4
合 計								⑯ 6.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・雨水利用のため下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区役所本庁舎・議会棟										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	4	4	
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	8	5	1	1	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	芝公園1-5-25									
事業所等の延床面積	33,573.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	895	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,745	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	9	t
	総計(④=②+③)	④	1,754	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	51.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	118,830.9	45.00	5,347.4	0.014	266.7
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	1,866,569.0	9.97	18,609.7	0.489	912.8
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	1,158,006.0	9.28	10,746.3	0.489	566.3
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 34,703.4		⑮ 1,745.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	12,063.0			0.251	3.0
	公共下水道	☐	m ³	14,287.0			0.439	6.3
合 計								⑯ 9.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E110	高効率モータの導入(空調用)
		E114	高効率パッケージの採用	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E136	デマンドコントローラの設置
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・雨水使用のため、下水が多い。・太陽熱の給湯設備を設置している。・センサーによるエリア毎での空調制御、調光を行っている。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	赤坂保育園									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	1	2
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	5	2	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	赤坂5-5-26-101								
事業所等の延床面積	792.56		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	30	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	59	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	61	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	74.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	13,639.5	45.00	613.8	0.014	30.6
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	58,686.0	9.97	585.1	0.489	28.7
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 1,198.9		⑮ 59.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,293.0			0.251	0.8
	公共下水道	☐	m ³	3,293.0			0.439	1.4
合 計								⑯ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	高輪保育園									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	5	3
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	4	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	高輪3-18-15								
事業所等の延床面積	2,880.36		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	105	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	203	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	208	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	70.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0			
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	330,427.1	9.97	3,294.4	0.489	161.6			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	85,731.2	9.28	795.6	0.489	41.9			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	4,089.9		⑮	203.5	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	7,484.0				0.251		1.9	
	公共下水道		☐	m ³	7,484.0				0.439		3.3	
合 計									⑯	5.2		

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C521	利用客数別燃料使用量の把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・高輪いきいきプラザ(指定管理者が運営・管理)、高輪児童館(区が運営・管理)を併設。・地中熱設置施設

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	みなと保健所										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	5	4	
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	3	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	三田1丁目4番10号									
事業所等の延床面積	7,525.42		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	137	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	266	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	268	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	35.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃 料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	153.7	45.00	6.9	0.014	0.3			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	545,248.0	9.76	5,321.6	0.489	266.6			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	5,328.5		⑮	267.0	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,280.0				0.251	0.8		
	公共下水道		☐	m ³	3,740.0				0.439	1.6		
合 計										⑯	2.5	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・地中熱設置施設。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	神明いきいきプラザ									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	5	5
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	3	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	三田1-4-10								
事業所等の延床面積	9,907.24		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	281	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	546	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8	t
総計(④=②+③)	④	554	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	55.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,117,725.9	9.76	10,909.0	0.489	546.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計					⑭ 10,909.0		⑮ 546.6
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	11,482.8			0.251	2.9
	公共下水道	☐ m ³	11,937.2			0.439	5.2
合 計							⑯ 8.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C130	エレベータ運転台数の制限
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設 備 導 入 対 策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置
				E141	太陽光発電設備の導入
				E143	地中熱ヒートポンプの導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・神明子ども中高生プラザ(指定管理者が運営・管理)、神明保育園(区が運営・管理)を併設。・雨水利用のため、下水が多い。・ガスの使用なし。ボイラーの設置なし。地中熱設置施設。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	港南子ども中高生プラザ										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	5	6	
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	5	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	港南4-3-7									
事業所等の延床面積	6,875.32			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場			☐ 複合施設			☒ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	148	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	285	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	288	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	41.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	9,951.7	45.00	447.8	0.014	22.3
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	460,340.0	9.97	4,589.6	0.489	225.1
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	78,175.0	9.28	725.5	0.489	38.2
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 5,762.9		⑮ 285.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,380.0			0.251	1.4
	公共下水道	☐	m ³	5,067.0			0.439	2.2
合 計								⑯ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置
				E143	地中熱ヒートポンプの導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・たかはま保育園を併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。・雨水を使用しているため、下水が多い。・地中熱設置施設

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	檜町公園									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	5	8
事業所等の所在地	〒107-0052 区市町村名 東京都港区 町名番地以下 赤坂9丁目7番9号									
事業所等の延床面積	16,370.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	5	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店	☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	68	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	73	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	4.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	18,616.0	9.97	185.6	0.489	9.1
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	120,547.0	9.76	1,176.5	0.489	58.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計							⑭ 1,362.1		⑮ 68.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	8,384.0			0.251	2.1
	公共下水道		☐	m ³	8,384.0			0.439	3.7
合 計									⑯ 5.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策				
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設 備 導 入 対 策			E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・面積は敷地面積を入力している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	高輪子ども中高生プラザ										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	5	9	
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	4	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	高輪1-4-35									
事業所等の延床面積	3,297.12			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	60	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	116	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	116	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	35.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	200,216.7	9.97	1,996.2	0.489	97.9
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	38,277.4	9.28	355.2	0.489	18.7
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 2,351.4		⑮ 116.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,385.5			0.251	0.3
	公共下水道	☐	m ³	1,385.5			0.439	0.6
合 計								⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C507	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	青山保育園										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	6	0	
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	6	1	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	北青山3-4-14-101									
事業所等の延床面積	1,189.11		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	32	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	62	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	63	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	52.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	5,221.9	45.00	235.0	0.014	11.7
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	88,528.0	9.97	882.6	0.489	43.3
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	15,949.0	9.28	148.0	0.489	7.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 1,265.6		⑮ 62.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,843.0			0.251	0.7
	公共下水道	☐	m ³	2,843.0			0.439	1.2
合 計								⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C519	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

・区分所有(都営住宅と併設)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	桂坂保育室(港区保育室)									
事業所番号	A	1	0	3	6	ー	0	0	6	1
事業所等の所在地	〒	1	0	8	ー	0	0	7	4	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	高輪3丁目19番36号								
事業所等の延床面積	2,201.27		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	62	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	121	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	126	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	54.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	8,038.7	45.00	361.7	0.014	18.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	86,615.0	9.97	863.6	0.489	42.4			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	19,546.0	9.28	181.4	0.489	9.6			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	105,648.0	9.76	1,031.1	0.489	51.7			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	2,437.8		⑮	121.6	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	7,595.0				0.251		1.9	
	公共下水道		☐	m ³	7,595.0				0.439		3.3	
合 計										⑯	5.2	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	芝保育園									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	6	3
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	3	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	芝5丁目18番1号101								
事業所等の延床面積	1,123.49		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	92	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	179	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
総計(④=②+③)	④	186	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	159.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	24,509.5	45.00	1,102.9	0.014	55.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	254,996.7	9.76	2,488.8	0.489	124.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計					⑭ 3,591.7		⑮ 179.7
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	11,311.3			0.251	2.8
	公共下水道	☐ m ³	10,163.0			0.439	4.5
合 計							⑯ 7.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設 備 導 入 対 策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

・みなと子育て応援プラザPokkeを併設。区分所有(都営住宅と併設)。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	伊皿子坂保育園									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	6	5
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	3	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	三田4丁目19番30号								
事業所等の延床面積	1,664.82		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	46	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	89	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	91	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	53.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	16,656.4	45.00	749.5	0.014	37.4
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	87,663.0	9.97	874.0	0.489	42.9
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	19,352.0	9.28	179.6	0.489	9.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 1,803.1		⑮ 89.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,096.0			0.251	1.0
	公共下水道	☐	m ³	4,096.0			0.439	1.8
合 計								⑯ 2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	芝公園保育園									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	6	9
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	1	1	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	芝公園2-7-3								
事業所等の延床面積	2,649.71		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	63	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	120	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	122	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	45.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	17,718.8	45.00	797.3	0.014	39.8
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	165,492.0	9.97	1,650.0	0.489	80.9
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫ 0.0	⑪ 9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合 計							⑭ 2,447.3		⑮ 120.7
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,870.0			0.251	1.0
	公共下水道		☐	m ³	3,870.0			0.439	1.7
合 計									⑯ 2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
		C508	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・照明は調整機能を使用し、明るさの微調整を行っている。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	芝浦橋保育室(港区保育室)										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	7	0	
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	2	3	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	芝浦4-6-8田町ファーストビル2階									
事業所等の延床面積	1,501.45		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場			☐ 複合施設			☒ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	45	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	88	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	89	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	58.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0			
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	181,936.0	9.76	1,775.7	0.489	89.0			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	1,775.7			⑮	89.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,990.0				0.251		0.5	
	公共下水道		☐	m ³	1,990.0				0.439		0.9	
合 計											⑯	1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C132	開け放し開口部面積の縮小
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・区分所有(民間ビル)。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	きらきらプラザ新橋										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	7	1	
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	0	4	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	新橋六丁目4-1									
事業所等の延床面積	1,570.50		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	32	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	63	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	63	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	40.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	9,878.0	45.00	444.5	0.014	22.2			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	85,174.0	9.76	831.3	0.489	41.7			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	1,275.8		⑮	63.8	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	477.0				0.251		0.1	
	公共下水道		☐	m ³	486.0				0.439		0.2	
合 計										⑯	0.3	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設 備 導 入 対 策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)
		E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・子育てプラザあつびい新橋と併設。・雨水を利用しているため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	麻布子ども中高生プラザ									
事業所番号	A	1	0	3	6	ー	0	0	7	2
事業所等の所在地	〒	1	0	6	ー	0	0	4	7	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	南麻布4丁目6-7								
事業所等の延床面積	5,017.91		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	122	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	236	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	240	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	47.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	37,618.3	45.00	1,692.8	0.014	84.4
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	241,159.8	9.97	2,404.4	0.489	117.9
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	70,408.1	9.28	653.4	0.489	34.4
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 4,750.6		⑮ 236.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,709.0			0.251	1.4
	公共下水道	☐	m ³	7,307.8			0.439	3.2
合 計								⑯ 4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)
		E114	高効率パッケージの採用	E130	全熱交換器の導入
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

・本村保育園(区が運営・管理)、ありすいきいきプラザ(指定管理者が運営・管理)を併設。当該施設は指定管理者が運営・管理している。・雨水利用のため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	西麻布いきいきプラザ									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	7	3
事業所等の所在地	〒106—0031 区市町村名 東京都港区									
	町名番地以下 西麻布二丁目13番3号									
事業所等の延床面積	4,723.89		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	134	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	260	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	264	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	55.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	34,831.5	45.00	1,567.4	0.014	78.2
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	284,103.0	9.97	2,832.5	0.489	138.9
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	89,298.0	9.28	828.7	0.489	43.7
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 5,228.6		⑮ 260.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	6,269.0			0.251	1.6
	公共下水道	☐	m ³	6,501.0			0.439	2.9
合 計								⑯ 4.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C132	開け放し開口部面積の縮小
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E140	BEMSの導入
		E114	高効率パッケージの採用	E141	太陽光発電設備の導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・西麻布保育園(区が運営・管理)、子育てひろばあっぱい西麻布(委託業者が運営・管理)を併設。・雨水利用のため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	シティハイツ港南(共用部)										
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	7	5	
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	7	5	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	港南3丁目3-17									
事業所等の延床面積	8,627.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場			☐ 複合施設			☒ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	90	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	171	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	171	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	19.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0			
	その他(軽油)		☐	L	60.0	37.70	2.3	0.019	0.2			
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	350,543.0	9.97	3,494.9	0.489	171.4			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	3,497.2		⑮	171.6	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	709.0				0.251	0.2		
	公共下水道		☐	m ³	709.0				0.439	0.3		
合 計										⑯	0.5	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C516	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

・シティハイツ港南の報告対象範囲は1階ロビー部分と4階から25階の共用部である。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	麻布保育園									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	7	6
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	3	2	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	六本木5丁目16-46								
事業所等の延床面積	2,355.07		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	77	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	150	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	152	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	63.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	20,763.7	45.00	934.4	0.014	46.6			
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	213,258.0	9.76	2,081.4	0.489	104.3			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	3,015.8		⑮	150.9	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,981.0				0.251		1.0	
	公共下水道		☐	m ³	4,256.0				0.439		1.9	
合 計										⑯	2.9	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C502	採光を利用した消灯の実施
				C507	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	しばうら保育園									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	7	7
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	2	3	区市町村名
	町名番地以下	芝浦3丁目1-16								
事業所等の延床面積	6,597.53			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満	
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	291	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	529	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	532	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	80.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	4,635.1	45.00	208.6	0.014	10.4
	その他(産業用以外の蒸気)	☐	MJ	1,974,634.0	1.36	2,685.5	0.060	118.5
	その他(冷水)	☐	MJ	1,782,500.0	1.36	2,424.2	0.060	107.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	600,475.0	9.97	5,986.7	0.489	293.6
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 11,305.0		⑮ 529.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,708.0			0.251	1.4
	公共下水道	☐	m ³	5,708.0			0.439	2.5
合 計								⑯ 3.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C132	開け放し開口部面積の縮小
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設 備 保 守 対 策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設 備 導 入 対 策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・地域冷暖房の使用がある。・あつぴい芝浦(委託業者が運営・管理)を併設している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新橋保育室									
事業所番号	A	1	0	3	6	—	0	0	7	9
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	0	4	区市町村名 東京都港区
	町名番地以下	新橋六丁目12-4								
事業所等の延床面積	2,557.37		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☒ 低炭素電力の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	67	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	130	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	131	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	50.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃 料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	3,983.6	45.00	179.3	0.014	8.9			
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	249,184.0	9.76	2,432.0	0.489	121.9			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	2,611.3		⑮	130.8	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,823.0				0.251	0.5		
	公共下水道		☐	m ³	1,823.0				0.439	0.8		
合 計										⑯	1.3	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C503	利用客数の時間帯別把握
				C507	温度計等による室温の把握と調整
				C512	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設 備 導 入 対 策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

・新橋学童クラブと併設。設備の管理等は所有者によって行われている。